

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 和歌山県立星林高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 641-0036
和歌山県和歌山市西浜2-9-9
E-mail : postmaster@seirin-h.wakayama-c.ed.jp
Website : http://www.seirin-h.wakayama-c.ed.jp
児童生徒数：男子 432名 女子 483名 合計 915名
児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

国際交流科 1年生の海外研修旅行(カナダ)をはじめ、全生徒対象とした姉妹校訪問研修（韓国、オーストラリア）や姉妹校訪問団受入（中国、韓国）を実施した。各研修参加者には、研修後、事後学習として感想文を提出させたり、学校説明会等で発表させたりしている。特に、海外研修旅行から帰国した後は、事後学習として生徒は各自テーマを設定し、カナダに関する調べ学習を行い、国際交流科 1・2年生(80名)の前で発表した。1年生にとっては、海外研修旅行の事前学習として役立っている。また、英語（CALL 演習）の授業では、同じ内容の報告を英語で行った。（参考資料：代表生徒のスライド）

また、本年度は和歌山大学からご支援をいただき、タイから訪問団を受け入れた。来年度は、本校から訪問団を派遣する予定にしており、長期的な相互交流が実現できればと考えている。他にも、地域各団体からの留学生の学校訪問の受け入れや各種派遣事業に生徒を派遣している。生徒の異文化理解に大きな役割を果たしている。

異文化理解促進の一つとして、第2外国語の習得を促進している。本年度は、第1回第2外国語レシテーションコンテストを開催し、韓国語、中国語、スペイン語選択生徒は、同じ課題をそれぞれの言語で暗唱し発表した。課題は「星の王子様」の一説とし、第2外国語教員と和歌山県文化国際課の国際交流員（韓国、中国、スペイン）の3名が審査した。生徒にとっては、各言語の音声面の特徴を体感でき、学習意識の向上に貢献した。

防災および地域理解の側面においては、防災訓練の一環として、学校全体で防災及び減災意識を啓発するために講演会を実施し、1年生に於いては近隣の高津子山に登り、避難経路の確認や地域の地形の確認を行った。

校内の行事の関係により、実施できなかった取り組みもあるが、今後も交流、および語学教育を中心に異文化理解を促進し、国際社会の一員としての自覚を高める取り組みを進めたい。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（カナダ海外研修事後学習パワーポイント（代表生徒））